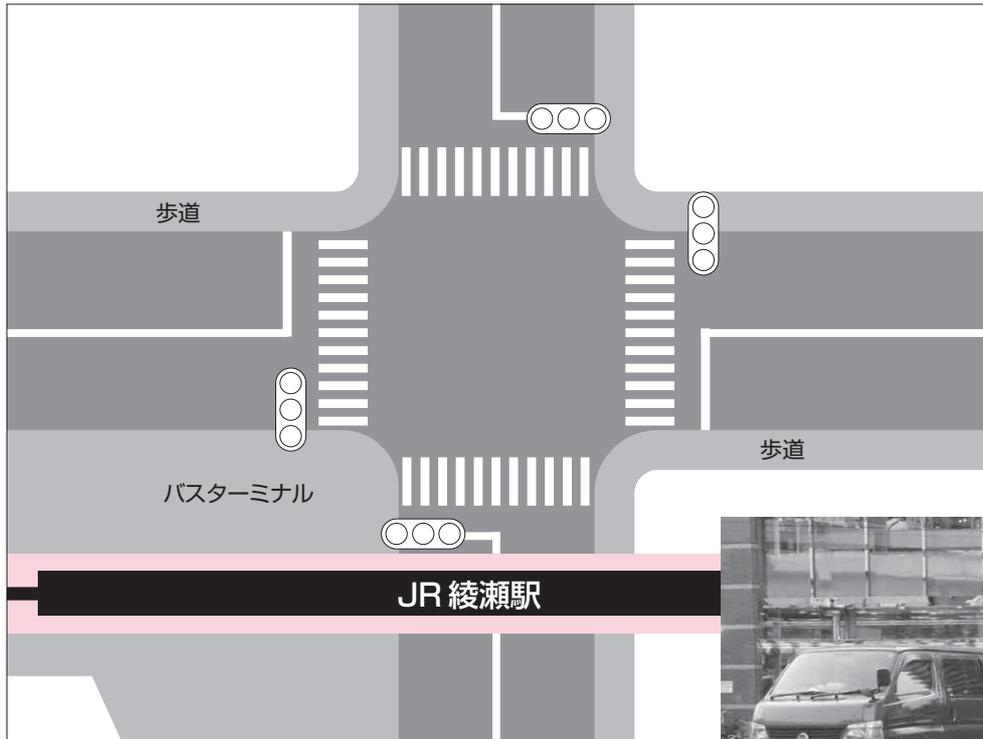


Q1

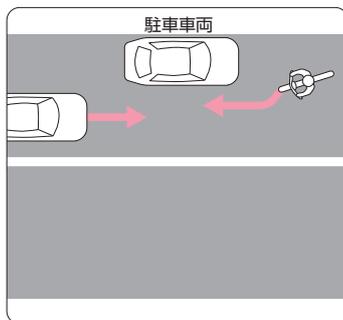
自転車163台中、右側通行だったのは何台でしょうか？



幼児を乗せた右側通行の自転車が駐車車両に接近する様子



- 観察場所／東京都足立区綾瀬4-7付近
- 観察日／2007年8月10日（金曜日）
- 観察時間／17:30～18:30



Q2

安全確認もせずに駐車車両の脇を通行する右側通行の自転車を目撃！ 何が危険だと考えられますか？

自転車の右側通行が原因の事故も発生している

平成18年、自転車が関係する交通事故は174,262件。このうち自転車が第1当事者となったのは27,250件だった。その多くが、自転車側の一時停止違反や安全不確認などに起因しており、右側通行が原因の事故も422件あった。（財）交通事故総合分析センター資料

こんな事故が起きています

道路交通法

通行区分

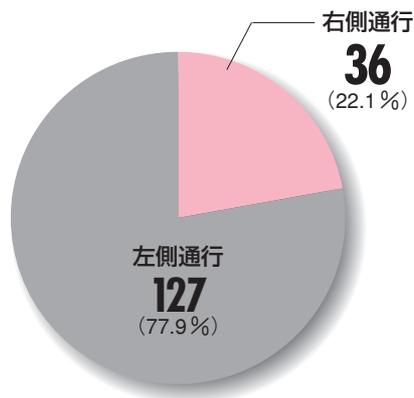
（法17条第4項・法18条第1項抜粋）

自転車は、道路（車道）の中央から左側部分の左側端に寄って通行しなければならない。

Q1
の解答

36台 (22.1%)

●車道を通行する自転車の通行状況 (163台中)



		子ども	中学生 高校生	成人	高齢者	小計
右側通行 (×)	男性	1	5	16	1	23
	女性	0	2	11	0	13
	小計	1	7	27	1	36
左側通行 (○)	男性	2	12	55	4	73
	女性	1	2	49	2	54
	小計	3	14	104	6	127

※子ども (12歳以下)、中学生・高校生 (13~18歳)、成人 (19~64歳)、高齢者 (65歳以上) の判断は観察者の見解による

観察場所の周辺は、歩道上も自転車の通行が可能。歩道を通行する自転車も多く、特に、子どもはほとんどが歩道を通行していた。車道通行は男性の比率が高かった。1時間の観察で、車道上を通行していた自転車は計163台。このうち右側通行は36台 (22.1%) だった。



クルマの近くを右側通行する高齢者の自転車

通行区分を意識していないと思われる自転車が多く、歩道→車道の

左側→車道の右側と、途中で通行区分を変更する様子が見られた。車道を右側通行する自転車の中には、子どもを乗せた母親や荷物を載せフラフラと走る自転車、携帯電話を片手の自転車、二人乗りの自転車の姿も見かけた。



携帯電話を使用したまま無理な横断をする自転車利用者

Q2
の解答

駐車車両が死角となり、接近するクルマやバイクに気づくのが遅れる

【解説】自転車は歩行者に比べスピードも速い。右側通行の自転車は、ドライバーやライダーの前方から急に接近してくるよう感じられる。駐車車両があると、ドライバーやライダーの死角になるので、駐車車両の脇から急に飛び出すと事故にあう危険性もある。

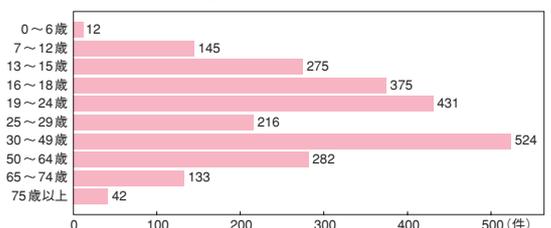
ここが
ポイント

- 自転車は車道では左側端を通行する
- 自転車やドライバー、ライダーは駐車車両の周りでは安全確認をしっかりとる

ワンポイント DATA

子どもも加害者となる自転車事故

自転車 (第1当事者) の年齢層別事故件数 (対歩行者事故)



自転車が歩行者と接触する事故が近年増えている。平成17年の自転車が第1当事者となった歩行者との事故は2435件。最も事故が多かったのは、30~49歳であったが、7~12歳の子どもが第1当事者となる事故も145件起きている。
(財)交通事故総合分析センター資料